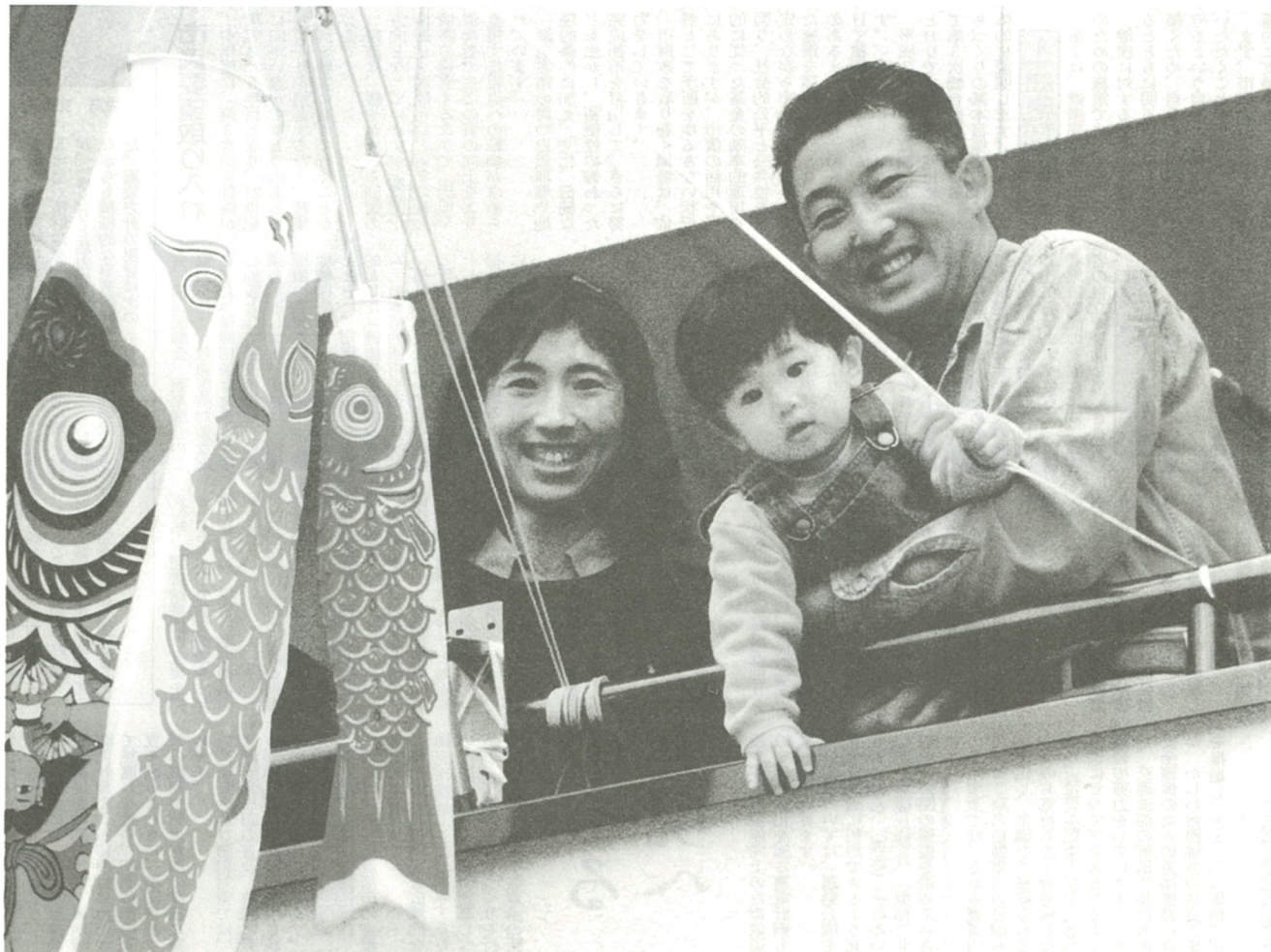


# 広報えびな

世帯と人口  
 (平成7年4月1日)  
 世帯 39,712 (+133)  
 人口 113,031人 (+126)  
 男 58,383人 女 54,648人

編集・発行  
 海老名市役所秘書広報課  
 〒243-04  
 神奈川県海老名市勝瀬175  
 ☎ (0462) 31・2111

この広報は再生紙を使用しています。



## はばたけ大空に!

写真は、堀川忍さん(右)、  
 凌くん(中央)、美佳さん(左)家  
 族(東柏ヶ谷6丁目在住)

風薫る5月。やわらかな光とさわやかな風の中で、木々も新緑の衣をまとい、きらきらと輝く季節になりました。5月5日は「こどもの日」です。子供たちの健やかな成長を願って、大空高く泳げ!こいのぼり。



「子供が生まれて、めまぐるしく過ぎていった年でした」と話すのは、堀川忍・美佳さんご夫婦。一粒種の凌くんは5月5日生まれ、今年で満1歳、初節句を迎えました。1年前の5月5日、ご主人も立ち会っての出産。へその緒を切ったお父さんはとても感激した、と言います。その後、2人で協力しながら子育てに奮闘。初めのうち、お父さんは凌くんを抱いたら抱いたきり体が固まってしまっ、ミルクを飲まずの汗だくでした、と当時を語ってくれました。ご両親の温かい愛情に包まれて、凌くんはスクスクと育ち、いろんな事に興味を示し始め、いたすらも盛んになってきました。引き出しの物を全部出したり、テレビのスイッチを押したり、また、階段をのぼって落ちても、またのぼろうとする、たくましさもでてきました。そんな凌くんの成長ぶりをみて、ご両親は、とにかく元気で素直に育ってほしいと願っています。もっか、楽しみにしていることは、凌くんが早くあんよが上手になって、3人でキャンプに行くことだそうです。



「こどもの日」。男の子の端午の節句です。月の初めの午の日を端午といい、五節句の一つとして、奈良時代から朝廷を始めとする公の儀式でした。午の音が五に通じることから、5月5日を端午の節句として、男女に限らずこの日を祝っていました。

季節柄、ショウブの節句ともいわれ、ショウブを「尚武(武道などを尊ぶこと)」にかけて、江戸中期ごろから、男子の節句と考えられるようになりました。一般家庭でも、この日は家に武者人形を飾り、こいのぼりを立てて祝います。また、家族でかしわもちを食べたり、ショウブ湯に入ります。地域によっては、独特の風習があったり、祝い方もさまざまです。本郷では5月1日の夕方に、ショウブ、ヨモギ、カヤを1束にしたものを3束、軒先に3カ所挿します。これをショウブヤネといいます。社家では火災にならぬようにと軒にショウブを挿し、上郷では門口にショウブを挿しました。また、男の子が生まれると大風が贈られる地域があり、上郷や社家などでは、畳2枚ほどの大きな扇を作って掲げました。いずれにしても、今も昔も、子供の健やかな成長を祈る親の気持ちには変わりはありません。

# 積極的な予算編成

## 平成7年度 市長の施政方針



左藤 究市長

平成7年度の海老名市市政の方向を示す「市長の施政方針」を3月2日、市議会定例会で表明しました。左藤市長は、7年度は第3次総合計画が策定されて5年目、市政を取り巻く環境はさらに厳しい状況となるが、財政運営は健全に配慮しながらも積極的な事業展開を図る予算編成により計画の完全実施を強調しました。施政方針の要旨は次のとおりです。

### 市民要望取り入れ

本年度は、第3次総合計画が策定されて5年目となり、21世紀に向かい豊かでゆとりのあるまちづくりを推進するため、政策運営を着実に進めて行くことが必要です。

経済は、緩やかながら回復の方向となつていますが、高齢化・国際化など近年の社会情勢の進展するなかで、生活・消費者の生活の質の向上をより重視する視点への転換が求められています。

海老名市の持つ自然環境や地理的条件に加え、文化、伝統なども生かして、利便性の備わった完成都市を目指して、さらに努力をしていきます。

市政を取り巻く環境は、依然として予断を容れない状況にありますが、市債の活用や目的の従った基金の効率的運用を図り、社会的公平と公共性を見定めながら市民要望を取り入れた施策を展開し「ゆとりと活力のあるまちえびな」の実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

### 「ゆとりと活力のあるまちえびな」の実現へ

平成7年度の予算額は上表のとおりですが、主な施策については第3次総合計画に掲げ、中・長期的基本目標に沿って具体的に説明します。

#### 1 健康福祉都市

第1は、健康福祉都市の実現のための施策です。

健康に対する意識の高揚を図るために、市民の健康は自分を守るという自覚と責任を持つていただくことが必要です。

また、市民の健康づくりを積極的に支援するとともに、医師

#### 2 教育文化都市

第2は、教育文化都市の実現のための施策です。

国際化・情報化が進むなかで、生涯学習の充実が求められていきます。各種文化活動への

#### 3 快適環境都市

第3は、快適環境都市の実現のための施策です。

環境の悪化が国際的問題となつていきます。みどり豊かなまちづくりを目指し、斜面緑地や山林などを保全し、緑化意識の高揚を図っていきます。

#### 4 生活拠点都市

第4は、生活拠点都市の実現のための施策です。

海老名駅周辺地区を広域的な拠点市街地として形成するため、民間活力を適切に誘導しながら、秩序あるまちづくりを行っていきます。地下駐車場の新

#### 5 産業複合都市

第5は、産業複合都市の実現のための施策です。

農業をとりまわす環境は、後継者の減少、就業者の高齢化など厳しいものがあります。

生産の場と同時に緑地・防災などもある農地の保全と有効活用を推進するとともに、リフレックス農地推進事業等に応分の負担をします。また、生産性の向上・経営の安定化を図るための基盤整備を行います。農業公園についても調査検討をしていきます。

#### 財政運営の健全化

以上、5つの柱に沿って説明しましたが、これらを推進していくためには市民のみならず、積極的な参加が何より大切です。

自治会活動を助成するとともに、社会コミュニティセンターを完成させ、10箇目として今泉地区の建設に着手します。また、(仮称)市民ギャラリーを完成させ、市民文化の向上をはかります。

事業実施のための財源は、法人個人の市民税、固定資産税など大幅な減収となり、市債や目的の従った基金の活用を行います。また、社会的公平と公共性を堅持し、創意と納得、創意と工夫を基本姿勢とし、「ゆとりと活力のあるまちえびな」の実現に向け財政運営の健全化に努めた積極的かつ公的立の予算を編成し、完実施を図っていきます。

飛行の中止や住宅防音区域の拡大を強く要請していきます。

災害対策については、阪神淡路大震災を教訓として、市域防災計画のうち13項目にわたって見直しを行い、初動体制の確立を図るとともに、消防機能などの整備や防火意識の高揚に努めます。

交通安全及び防犯対策では、交通安全思想の普及、啓発に努め、警察署の早期設置を引き続き県に強く要望していきます。

第4は、生活拠点都市の実現のための施策です。

海老名駅周辺地区を広域的な拠点市街地として形成するため、民間活力を適切に誘導しながら、秩序あるまちづくりを行っていきます。地下駐車場の新設や、都市機能向上のため鉄道の立体交差化を図る事業計画も推進していきます。

公園については、運動公園を安全で快適に利用できるように充実するほか、(仮称)ふれあい公園の完成に続き、(仮称)北部地区公園の整備を進めていきます。

道路事業では、さがみ縦貫道路第2東名自動車道の計画も具体化し、余儀なく転売される方々のお気持ちを十分考慮しながら、緑道や高架下の活用など、市民にとってプラスとなるよう最善の努力をします。また、交通渋滞の解消や歩行者の安全確保のための道路整備のほか、かしわ台踏切の改良工事を推進し、さらに、(仮称)相模川橋梁についても、関係自治体と連携し、夜間訓練を進め、市史料編纂世話を発刊します。また、市民の芸術・文化の向上を図るための文化会館小ホールを完成させます。

第3は、快適環境都市の実現のための施策です。

環境の悪化が国際的問題となつていきます。みどり豊かなまちづくりを目指し、斜面緑地や山林などを保全し、緑化意識の高揚を図っていきます。

資源の分別回収の充実を図り、引き続き生ゴミや廃棄物の減量を推進します。また、地球環境の普及促進モデル都市として低公害車普及促進事業を実施していきます。

航空機騒音については、関係自治体と連携し、夜間訓練を進め、市史料編纂世話を発刊します。また、市民の芸術・文化の向上を図るための文化会館小ホールを完成させます。

第3は、快適環境都市の実現のための施策です。

環境の悪化が国際的問題となつていきます。みどり豊かなまちづくりを目指し、斜面緑地や山林などを保全し、緑化意識の高揚を図っていきます。

資源の分別回収の充実を図り、引き続き生ゴミや廃棄物の減量を推進します。また、地球環境の普及促進モデル都市として低公害車普及促進事業を実施していきます。

航空機騒音については、関係自治体と連携し、夜間訓練を進め、市史料編纂世話を発刊します。また、市民の芸術・文化の向上を図るための文化会館小ホールを完成させます。

# 市民へ開かれた市政めざして

公正で開かれた市政のために海老名市の「公文書公開制度」があります。この制度は昭和63年から実施していますが、毎年少しずつ利用者も増加し、海老名市の市政に対する理解と信頼を深めていただく手段のひとつとして成長しています。平成6年度は合計47件のご利用がありますが、市ではさらにこの利用率向上を目指しています。

## 市役所の公文書 公開します

利用は20件

制度の紹介

平成6年度の公文書公開制度の利用件数は47件で、その内訳は、公文書の公開請求が20件、情報提供が27件でした。公文書の公開請求に対する処理の内訳は、公開したものが13件、一部公開したものが7件、非公開が2件、文書が存在しないことが市の保存文書に存在しなかったものが2件で、これらの決定に対する不服申立てはありませんでした。

また、市の各種刊行物の閲覧など、個人的な調べ物の利用も多く、市外の方の利用も目立ちました。

公文書公開制度とは、みなさんからの請求に応じて、個人のプライバシーなどの一部の情報を除き、市政の記録である公文書を公開(閲覧または写し)の交換する制度です。



情報公開コーナーには、各種資料が...

### 公文書公開請求 できる方は...

- ①市内に住所のある人
- ②市内に事務所や事業所のある個人や法人その他の団体
- ③市内に勤務する人
- ④市内に在学する人
- ⑤市内に固定資産を持っている人
- ⑥市の行政に利害関係がある人

### 情報コーナー 利用ください

公文書公開請求書に知りたき事項などを記入し、提出していただきます。市では、公文書公開請求書を受け付けた後、公開か非公開かを14日以内に決定し、公開の日時・場所を通知します。

なお、非公開となった場合、その決定に不服があるときは市に不服申立てをすることがあります。

この場合、市では公文書公開審査会に意見を求め、その意見をもとに公開するかどうかの判断を再度行い、その結果を通知します。

公文書公開請求書は、市庁舎1階の総務課内(情報公開コーナー)窓口を通して請求してください。

市庁舎に隣接情報公開コーナーを開設しています。公開請求のための公文書目録や統計書、総合計画書など市の刊行物や全国の主な市の各種刊行物を揃えてありますのでお気軽にご利用ください。

▽問い合わせ 管理課(内近)



## 海老名むかしばなし

電話で海老名の昔話が聞けます

33-3333333

海老名市 電話 中野田相模 561-65 新田町(561-65)

海老名市の歴史を語る上で、地名は重要な要素の一つです。地名には、その土地の歴史や文化、地理的特徴などが反映されています。海老名市の地名も、長い歴史の中で形成されてきました。

「免」のつく地名は、このほか、国分(八幡免、宮免)、天神免、観音免、中野田(観音免、定免)、河原口(有免)、鐘つき免、杉久保(外宮免、稲荷免)、社(有免)、中野(有免)、番匠免、鍛冶免などがあり、社に関するものが特に多い。これらは、いずれもその免田

海老名市の歴史を語る上で、地名は重要な要素の一つです。地名には、その土地の歴史や文化、地理的特徴などが反映されています。海老名市の地名も、長い歴史の中で形成されてきました。

「免」のつく地名は、このほか、国分(八幡免、宮免)、天神免、観音免、中野田(観音免、定免)、河原口(有免)、鐘つき免、杉久保(外宮免、稲荷免)、社(有免)、中野(有免)、番匠免、鍛冶免などがあり、社に関するものが特に多い。これらは、いずれもその免田

## 海老名むかしばなし

海老名市の歴史を語る上で、地名は重要な要素の一つです。地名には、その土地の歴史や文化、地理的特徴などが反映されています。海老名市の地名も、長い歴史の中で形成されてきました。

「免」のつく地名は、このほか、国分(八幡免、宮免)、天神免、観音免、中野田(観音免、定免)、河原口(有免)、鐘つき免、杉久保(外宮免、稲荷免)、社(有免)、中野(有免)、番匠免、鍛冶免などがあり、社に関するものが特に多い。これらは、いずれもその免田

海老名市の歴史を語る上で、地名は重要な要素の一つです。地名には、その土地の歴史や文化、地理的特徴などが反映されています。海老名市の地名も、長い歴史の中で形成されてきました。

「免」のつく地名は、このほか、国分(八幡免、宮免)、天神免、観音免、中野田(観音免、定免)、河原口(有免)、鐘つき免、杉久保(外宮免、稲荷免)、社(有免)、中野(有免)、番匠免、鍛冶免などがあり、社に関するものが特に多い。これらは、いずれもその免田

### 第348話 免のつく地名



このコーナーに掲載を希望される方は、原稿を作成して...

募 集

●ガレージ・セール不用品 衣類・子供服・不用品など...

●海老名市歩こう会 新緑の金沢文庫周辺の尾根をハイク...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

●在宅介護活動の会員 海老名・萩の会は、住民参加型の民間...

農業用水の通水始まる

田植のシーズンを迎え、今年も農業用水の通水が、4月下旬から始まりました。

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

●健康体操ポテトクラブ会員 毎水曜日午後2時～3時30分...

危険防止に協力

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

児童の事故防止のため、今年も児童の事故防止のため、児童の事故防止のため...

10月1日の国勢調査員募集

今年、国勢調査が行われます。国勢調査は、国内に住んでいるすべての方を対象に5年に一度全国一斉に行われる統計調査です。

市では、10月1日に行われるこの調査の調査員を、次の要領で募集します。

●調査期間 9月中旬～10月中旬 ●仕事の内容 調査区内の各世帯約50世帯を訪問し、調査票を配布して記入を依頼し、調査票の作成、調査票を回収し、検査・整理した調査票を市に提出 ●募集人員 718人 ●報酬額 4万円程度 ●調査票により変動あり ●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

●申し込み・問い合わせ 6月16日(金)までに企画課(内30)へ。

高齢者趣味の7教室受講生募集

高齢者趣味の各教室受講生を次のとおり募集します。6月から12月までの毎金曜日(全24回)開催です。

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

市の花「さつき」展を開催

市の花「さつき」の美しさを多くの方に楽しんでいただくために、さつきの普及を目的に「第15回さつき展」を開催します。

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

●会場 市役所1階エントランスホール

日ごろの丹精、作品をどうぞ

市役所公民館で、市民の創作活動を応援する「日ごろの丹精」展を開催します。

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

●会場 市役所公民館

公共下水道の利用区域が広がります

市民のみなさんが、清潔で快適に暮らすために、公共下水道の利用区域が広がります。

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

15日から東柏ケ谷1丁目など75%

公共下水道を利用できる区域が、15日から東柏ケ谷1丁目など75%に広がります。

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

●対象 市内在住の60歳以上

駅周辺まちづくり報告

共に考えるまちづくり

ひとつの「まち」で生活する人々が、生活しやすい環境を待ち望んでいることは間違いない。一人では解決できないことも、共通の問題意識を持つ人たちが集まり、行政と市民が一体となって、意見を話し合うことで、解決の糸口をつかむことができる。海老名駅周辺のまちづくりの実現に向け、地域の皆さんと共に考え、着実にまちづくりを進めていくため、また、だれもが誇れるまちづくりのため、市ではまちづくり懇談会を開催するなどの事業を行っています。今回はまちづくりを進めるうえでの課題や動き出したまちづくりのステップを報告します。

まちづくり部 駅周辺対策室 031・2111 内線694

海老名駅周辺地区まち



熱心な討論がなされた懇談会。点から、意向を十分に把握した地区中心整備へ向けての5つの枠組みで構成されています。講演については、スライドを用いた具体的な事例による説明などによって進められました。

周辺都市の動き
海老名市は、長年「へそ」のない街と言われてきました。そのような中で、海老名駅周辺地区は、昭和48年には小田急相模線海老名駅の移転、それに伴う駅周辺の開発、さらには、昭和63年のJR海老名駅(当時、国鉄海老名駅)の新設と、徐々にではありますが、中心市街地としての相模川が形づくられようとしています。

今なぜまちづくりか
大野の整備
大和市と相模線の地下化、小田急線の高架化による駅周辺連立交通事業の完成に伴う大和市の顔づくり

自立都市目指して
海老名市は、小田急線、相模線、JR相模線の3線の鉄道が乗り入れるターミナル駅を持つた市として、従来から開発ポテンシャルは高いとされています。

海老名駅周辺には駐車場が多く立地していますが、そのほとんどが暫定的な利用としての駐車場で月極めの駐車場となっており、その一方で、駅周辺の商業施設などを利用する際に車を一時預けるための駐車場が十分に確保されていないのが現状です。

まちづくり懇談会

自立都市として、海老名市がさらに飛躍的に発展していくためには、海老名駅周辺地区において、中心市街地としての玄関口にあふさわしい魅力と風格を兼ね備えたまちづくりを進めることが、重要な課題です。

第1回懇談会
第1回の懇談会は、産能大学の齊藤先生を講師として平成7年1月28日(土)の午後1時から約2時間の開催いたしました。

動き出した海老名駅周辺

特集

市を中心市街地である海老名駅周辺地区では、人や物が集まる拠点として、今、様々な課題を抱えています。

自立都市目指して

市街地による

駐車場の不足

魅力的な施設

十分な中心商業地

こんなことが問題に

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

市街地による
海老名駅には、小田急小田原線、相模線、JR相模線の3線の鉄道が入り込んでいます。

駐車場の不足
海老名駅周辺には駐車場が多く立地していますが、そのほとんどが暫定的な利用としての駐車場で月極めの駐車場となっており、その一方で、駅周辺の商業施設などを利用する際に車を一時預けるための駐車場が十分に確保されていないのが現状です。

魅力的な施設
海老名駅周辺では、シネマコンプレックスシアター(複数の小規模劇場で構成される映画館)のオープンが話題となつたものの、駅前広場の南側に隣接する土地と海老名中央公園に隣接する土地など、まさに中心市街地の土地が依然として未利用若しくは暫定的な利用状況にあります。

十分な中心商業地
海老名駅周辺地区については、鉄道3線が集まるターミナル駅としての広域的な商業地の形成にはなっていません。

こんなことが問題に

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

市街地による
海老名駅周辺では、朝夕の通勤ラッシュ時や土日の買い物客などによる交通渋滞が著しい状況にあります。

十分な中心商業地
海老名駅周辺地区については、鉄道3線が集まるターミナル駅としての広域的な商業地の形成にはなっていません。

こんなことが問題に

魅力的な施設

十分な中心商業地

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業



十分な中心商業地
海老名駅周辺地区については、鉄道3線が集まるターミナル駅としての広域的な商業地の形成にはなっていません。

魅力的な施設

十分な中心商業地

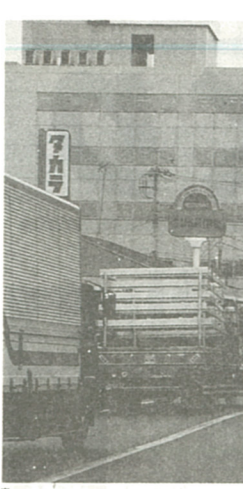
問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業



十分な中心商業地
海老名駅周辺地区については、鉄道3線が集まるターミナル駅としての広域的な商業地の形成にはなっていません。

魅力的な施設

十分な中心商業地

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

問題解決へ進む事業

# 特別会計の概要

## 一 国民健康保険事業

国民健康保険事業は、加入者が病気がけがに備えて、お互いに保険税を出し合っ、安心して治療を受けられるように、相互扶助を目的に生まれた制度です。職場の健康保険(健康保険組合や共済組合など)に加入している方や、生活保護を受けている方などを除いて、市内に住んでいる方は、国民健康保険に加入しなければなりません。

平成7年2月末現在の国民健康保険加入者は、25,364人で、市民全体の22.46%の方が加入しています。国民健康保険の給付は、医療費のほかに出産育児一時金、葬祭費などがあります。また、医療機関で負担した額が、一定限度を超えた場合は、高額療養費として国民健康保険から超えた額が支払われる制度もあります。

国民健康保険の財源は、加入者の収入などに応じて納めていただく保険税や、国・県の補助金、一般会計や基金からの繰入金などで賄われています。

今年度は、保険税の所得割額算定の基礎控除額が33万円に引き上げられ、また、賦課限度額も50万円となります。予算総額は、37億6,470万9,000円で、前年度に比べ4.7%の増となっています。

## 一 下水道事業

下水道事業は、都市の健全な発達と健康で快適な生活環境の確保を図るとともに、海・河川・湖沼などの公共用水域の水質保全を目的に行われています。

市では、昭和48年3月から事業に着手し、国の第7次下水道整備5カ年計画(平成3年～7年度)や相模川流域下水道の整備計画に合わせて、早期完成に向けて事業を推進しています。

人口の増加による市街地の拡大と、流域下水道の整備進展に対応して、これまで5回にわたって認可区域を拡張し、平成6年度末の整備面積は、893ha、普及率は70.8%となっています。

今年度の主な工事区域は、中野・社家・今里・柏ヶ谷・東柏ヶ谷1丁目～5丁目・下今里・中新田・国分南4丁目・望地・門沢橋で面的整備の推進と普及率の向上を図ります。なお今年度の予算総額は、42億9,213万円で前年度に比べて5.7%の増となっています。

## 一 老人保健医療事業

老人保健医療事業は、お年寄りの医療費を助成する事業で、医療費の負担は国、県、市、お年寄り自身が負担するほか、医療保険制度の各保険者が共同で拠出し負担するもので、国民が健康で安心して暮らせることを目的として医療給付を行っています。

受給対象者は70歳以上の方と、65歳以上70歳未満の障害(1～3級)をお持ちの方で、現在5,329人で去年に比べ5.4%増えています。

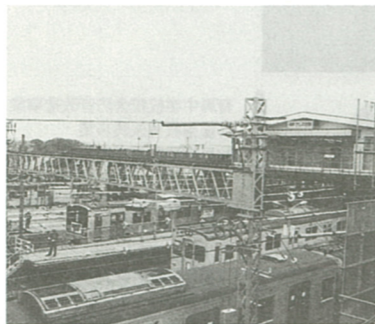
今年度の予算総額は、30億7,906万円で前年度に比べ7.3%の増となっています。このうち医療費は30億4,567万円で、前年度に比べ7.3%の増となっています。

お年寄りが負担していただく一部負担金は、高齢化社会に向かって制度の長期的安定のために、外来1カ月1,000円、入院1日700円でしたが、平成7年4月1日から、消費者物価の変動により外来のみ1,010円に改正されました。

これからのお年寄りの健康については、高齢者保健福祉計画や各種保健事業との総合的な医療福祉の充実が求められており、保健相談センターの積極的な利用をしていただくとともに、これらを中心とした医療費の助成を行います。

# 21世紀へ

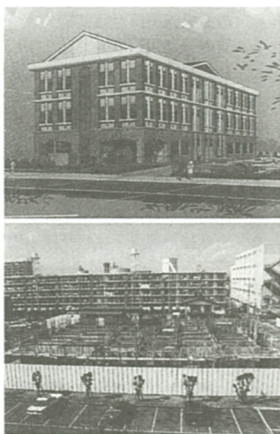
## 財政特集



改良工事の始まったかしわ台跨線橋

2番目に大きいのが教育費の

また、民生費は38億5,000万



来年4月に開所予定の(仮称)地域医療センター

## 土木費が第1位

## 歳出

一般会計歳出予算に占める割合の最も大きいのは土木費で15億5,000万円、全体の31.7%にあたり、前年度と比べると

1.2%の減となります。これは前年度の大規模事業(仮称)海老名中央公園地下駐車場建設事業は終了しましたが、完成都市に向けた都市基盤整備を強く押し進める時期として、道路・公園用地の購入事業をはじめ、3番目に大きいのは総務費の60億5,240万円で、全体の16.6%を占め、前年度に比べて29.3%の減となりました。これは前年度には、文化会館小ホール建設事業、(仮称)市民ギヤラリー整備事業、(仮称)門沢橋地区・(仮称)本郷地区コミュニティセンターの建設事業があったためです。

円、全体の10.6%を占め、前年度と比べて1.9%の増となりました。これは、保育所入所及び施設入所措置事業をはじめ、福祉事業の充実を図るためです。衛生費は35億9,000万円で、全体の9.9%を占め、前年度に比べて28.9%の増となりました。これは、前年度に引き続き(仮称)地域医療センターの建設を進めるとともに、(仮称)海老名市葬祭式場用地の購入、大和斎場組合・高麗清掃施設組合への運営負担金が増となったためです。

なお、性別別にみると歳出予算に占める割合の大きいものは、普通建設事業費の12億7,000万円(36.4%)、以下、人件費の75億4,200万円(20.7%)、物件費の46億2,200万円(12.7%)、前年度に比べて6,700万円増加し、伸び率は0.2%となっています。第3次総合計画の達成を目指して「まちづくり基金」をはじめ、各種基金や市債を積極的に活用し、「ゆとりと活力のあるまちづくり」の実現に向けて努めてまいります。

## 市有財産などの状況

平成7年2月28日現在

区分	土地	建物
市庁舎	17,024	15,879
消防施設	11,763	4,658
清学校	334,529	112,007
公営住宅	27,756	4,842
保育園	8,904	2,037
児童館	2,884	1,434
公民館	0	1,614
公園	307,136	16,013
その他の施設	109,160	33,172
小計	819,156	191,656
田畑	938	
雑種地	303	
宅地	38,978	
雑種地	5,100	
その他の地目	131	
小計	45,450	897
計	864,606	192,553

基金名	現在高	備考
財政調整基金	188,320	現金
まちづくり基金	934,410	〃
庁舎等維持管理基金	300,425	〃
高齢者福祉基金	60,700	〃
奨学金基金	11,398	〃
	24,476	〃
土地開発基金	23,526	土地
	0	貸付金
用品調達基金	297	現金
	3	消耗品
公共施設整備基金	51,311	現金
まごころ基金	10,765	〃
みどり基金	64,476	〃
国民健康保険財政調整基金	93,397	〃
国民年金印刷購入基金	500	〃

会計区分	平成7年2月28日現在高		7年2月28日未償還額
	借入額	償還額	
一般会計	258,415	35,500	293,915
民生債	52,648	27	52,675
衛生債	61,008	0	61,008
土木債	566,253	0	566,253
消防債	9,350	0	9,350
教育債	602,932	0	602,932
計	1,550,606	35,527	1,550,848
特別会計	220,356	0	220,356
公共下水道債	894,532	1,250	873,832
計	1,114,888	1,250	1,094,188

# 活力あるまちづくり

## 予算総額は476億円に

## 5つの部門別目標

平成7年度当初予算が、3月定例会で原案のとおり可決され成立しました。この予算総額は、一般会計と3つの特別会計を合わせて476億8,290万円で、前年度と比較すると一般会計は0.2%、全体では1.4%の伸びとなっています。

平成7年度の「市長の施政方針」では、国の経済が回復傾向にあるものの、依然として予断を許さない状況であり、第3次総合計画策定5年目を前にあたり、実施計画の完全実施を目指すと同時に、社会的公平と公共性を見定めながら、市民要望を取り入れた施策を展開し、21世紀を見据えた都市像「ゆとりと活力のあるまちづくり」の実現に向けて積極的に取り組むこととしました。

- ① 健康で生きがいな暮らし
- ② 心豊かな文化のまち
- ③ 安心して快適に暮らせるまち
- ④ ゆとりのある住みよきまち
- ⑤ 地域経済に活力があるまち

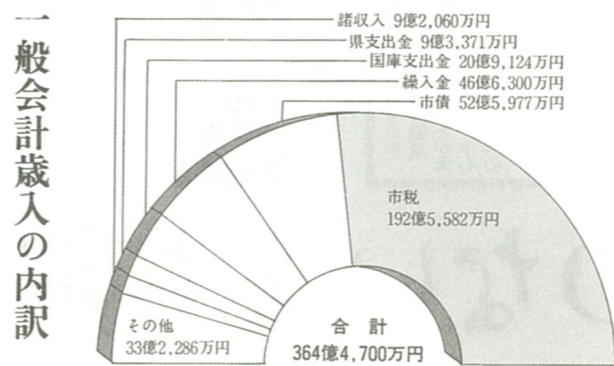
(この財政特集は、地方自治法などの規定に基づき公表するものです。)

関連記事は9・10・11面に



21世紀を担う子供たちのためにも着実に「まちづくり」を行います

## 歳入 市税収入は192億円



一般会計歳入予算総額は476億8,290万円で、前年度と比べて1.4%の増です。このうち最大の割合を占めるのが市税で、192億5,582万円で、前年度に比べて1.4%の増です。

この市税は、引き続き景気低迷の影響と特別減税により、前年度に比べ1億5,100万円減少し0.8%の減となり、2年連続して前年を下回るようになりました。

市税の内訳は、個人市民税が76億9,000万円、対前年度伸び率11.4%減、法人市民税が22億6,500万円(4.3%増)、固定資産税が75億8,000万円(9.4%増)、都市計画税が10億2,000万円(8.8%増)などです。

2番目に大きいのが市債の52億5,000万円で、全体の14.4%を占め、前年度と比べて37.9%と大幅な増となっています。これは、コミュニティセンター建設事業や臨時施設整備事業などの財源にあてることも

に、住民税減税の補てん財源とするものです。

3番目に大きいのが繰入金で、46億6,300万円、全体の12.8%にあたり、前年と比べて17.8%の減となりました。これは、前年度には、地下駐車場や文化会館小ホールなどの大型事業があったためです。

7年度も積極的に事業を推進する財源とするため、基金を取り崩して繰り入れる予定です。

区分	平成7年度	平成6年度	伸率
個人市民税	769,706	868,687	△11.4
法人市民税	226,513	217,160	4.3
固定資産税	758,271	692,947	9.4
軽自動車税	5,086	4,953	2.7
市たばこ税	59,785	58,520	2.2
特別土地保有税	4,715	5,239	△10.0
都市計画税	101,506	93,270	8.8
合計	1,925,582	1,940,776	△0.8

※△はマイナスを表す

## 平成7年度各会計別予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	伸率
一般会計	3,644,700	3,638,000	0.2%
特別会計			
国民健康保険事業	376,471	359,583	4.7
下水道事業	429,213	406,181	5.7
老人保健医療事業	307,906	286,995	7.3
計	4,758,290	4,690,758	1.4



健康でゆたかな老後を

### 一般会計予算の執行状況

(7年2月28日現在 単位:万円)					
歳入	当初予算額A	補正等予算額B	予算現額A+B	収入済額C	執行率 C/A+B
市税	1,940,776	△132,194	1,808,582	1,723,030	95.3%
地方譲与税	60,000	0	60,000	50,683	84.5
利子割交付金	30,000	0	30,000	30,908	103.0
特別地方消費税交付金	400	0	400	0	0.0
自動車取得税交付金	40,000	0	40,000	28,919	72.3
地方交付税	9,000	0	9,000	7	0.1
交通安全対策特別交付金	2,600	0	2,600	1,722	66.2
分担金及び負担金	32,983	8,290	41,273	30,131	73.0
使用料及び手数料	27,376	0	27,376	25,410	92.8
国庫支出金	230,013	52,829	282,842	130,239	46.0
県支出金	88,460	△3,429	85,031	41,004	48.2
財産収入	33,863	76	33,939	20,995	61.9
寄附金	400	1,714	2,114	2,205	104.3
繰入金	567,442	△144,099	423,343	77,762	18.4
繰越金	90,000	244,036	334,036	334,036	100.0
雑収入	103,324	2,500	105,824	16,278	15.4
市債	381,363	202,620	583,983	48,027	8.2
計	3,638,000	232,343	3,870,343	2,561,356	66.2

(7年2月28日現在 単位:万円)					
歳出	当初予算額A	補正等予算額B	予算現額A+B	支出済額C	執行率 C/A+B
一般会費	33,705	△9	33,696	30,312	90.0%
総務費	856,302	88,334	944,636	441,230	46.7
民生費	378,775	7,154	385,929	332,450	86.1
衛生費	279,097	1,831	280,928	232,786	82.9
労働費	27,924	0	27,924	26,550	95.1
農林水産業費	50,564	2,619	53,183	32,379	60.9
商工費	43,255	370	43,625	40,405	92.6
土木費	1,169,304	92,119	1,261,423	705,614	55.9
消防費	132,597	1,818	134,415	121,436	90.3
教育費	484,572	11,778	496,350	271,596	54.7
公債費	176,555	23,437	199,992	109,940	55.0
雑支出金	350	0	350	0	0.0
予備費	5,000	2,892	7,892	0	0.0
計	3,638,000	232,343	3,870,343	2,344,698	60.6

### 特別会計予算の執行状況

(歳入) (7年2月28日現在 単位:万円)			
款	予算現額①	収入済額②	執行率③
国民健康保険税	158,155	132,445	83.7%
国庫支出金	106,184	76,847	72.4
療養給付費交付金	56,568	43,580	77.0
県支出金	1,172	550	46.9
共同事業交付金	3,168	2,763	87.2
財産収入	2,082	999	48.0
繰入金	48,284	14,783	30.6
繰越金	6,266	6,266	100.0
雑収入	1,918	1,481	77.2
計	383,797	279,714	72.9

(歳出) (7年2月28日現在 単位:万円)			
款	予算現額①	支出済額②	執行率③
総務費	8,578	7,379	86.0%
保険給付金	284,050	213,328	75.1
老人保健拠出金	79,145	72,552	91.7
共同事業拠出金	3,252	2,438	75.0
保健施設費	599	513	85.6
基金積立金	2,083	999	48.0
公債費	88	0	0.0
雑支出金	4,519	2,696	59.7
予備費	1,483	0	0.0
計	383,797	299,905	78.1

(歳入) (7年2月28日現在 単位:万円)			
款	予算現額①	収入済額②	執行率③
分担金及び負担金	7,069	7,172	101.5%
使用料及び手数料	60,431	54,273	89.8
国庫支出金	53,826	43,026	79.9
県支出金	1,700	0	0.0
繰入金	206,965	206,965	100.0
繰越金	22,564	22,564	100.0
雑収入	1,387	1,288	92.9
市債	112,540	6,060	5.4
計	466,482	341,348	73.2

(歳出) (7年2月28日現在 単位:万円)			
款	予算現額①	支出済額②	執行率③
総務費	72,787	64,504	88.6%
事業費	283,380	199,497	70.4
公債費	110,015	63,052	57.3
予備費	300	0	0.0
計	466,482	327,053	70.1

(歳入) (7年2月28日現在 単位:万円)			
款	予算現額①	収入済額②	執行率③
支払基金交付金	193,194	162,479	84.1%
国庫支出金	59,704	52,748	88.3
県支出金	15,225	11,091	72.8
繰入金	23,493	23,493	100.0
繰越金	6,944	6,944	100.0
雑収入	141	821	582.3
計	298,701	257,576	86.2

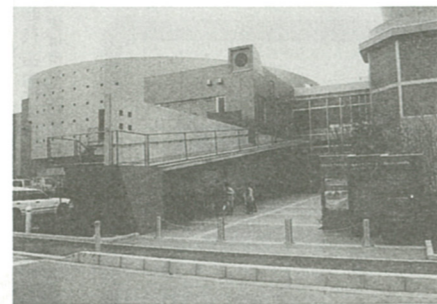
(歳出) (7年2月28日現在 単位:万円)			
款	予算現額①	支出済額②	執行率③
総務費	2,580	2,098	81.3%
医療費	288,457	240,720	83.5
公債費	15	0	0.0
雑支出金	6,849	6,836	99.8
予備費	800	0	0.0
計	298,701	249,654	83.6

## 積極的なまちづくり

### 平成6年度の執行状況

平成6年度予算の一般会計と3つの特別会計を合わせた当初予算額は約3億7千万円でしたが、その後の補正などで2月28日現在、約3億9千万円となっています。各会計では、一般会計が当初予算額約8千万円に対し、3回の補正などで約3億4千万円となつております。国民健康保険特別会計は、当初予算額3億9千万円に対し、3回の補正などで3億8千万円となっています。下水道事業特別会計は、当初予算額4億6千万円に対し、2回の補正などで4億6千万円となっています。老人保健医療事業特別会計は、当初予算額2億8千万円に対し、2回の補正などで2億8千万円となっています。

平成6年度に実施した一般会計の主な事業は次のとおりです。総務費では、(仮称)門沢橋・本郷コミュニティセンターの建設、(仮称)社家コミュニティ



完成した有馬図書館・門沢橋コミュニティセンター

センター・文化会館小ホールへの住み替えに対する差額の助成や、保育園への入所事業などを進め、福祉の向上に努めました。衛生費では、(仮称)地域医療センターの建設に着手し、成人病予防対策事業、成人歯科健康診査事業、資源分別回収事業、公衆衛生の向上を図りました。労働費では、促進奨励事業、中小企業退職金共済制度奨励事業などを実施し、緑地の購入・下水道の整備など

農林水産業費では、水と花と緑のこころ整備事業、リフレックス農業利用推進事業、農業基盤整備事業などの実施と、農業基盤整備事業、農産物の振興を図りました。商工費では、商工会、観光協会補助事業などを行い、商工業の振興を図りました。中央公園地下駐車場の建設、(仮称)相模川橋架設事業、かしわ台跡線橋架設事業の実施、自然緑地の購入・下水道の整備など

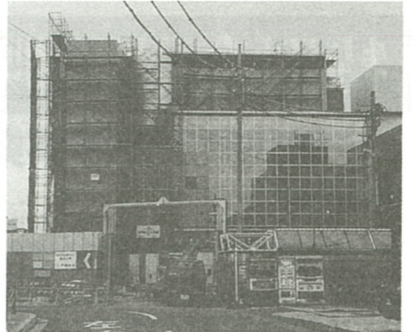


5月20日から利用開始の地下駐車場

## 平成7年度 主な事業



防音工事中の有馬中学校



完成間近の文化会館小ホール

### 健康福祉都市

#### ◎健康で生きがいみちたまち

健康に対する意識の高揚と、明るい家庭・社会を築くため、市民の健康づくりの支援、救急医療対策や健康保持のために諸施策を展開するほか、高齢者保健福祉計画を基本とした、児童・高齢者・障害者福祉の充実を図ります。

救急医療確保対策事業	7,388万円
健康管理情報システム事業	2,698万円
予防接種事業	10,300万円
成人病等検診事業	10,633万円
(仮称)海老名市葬祭式場建設事業	48,332万円
「用地購入等」	
(仮称)地域医療センター建設事業	30,704万円
「6・7年度継続」	
生活保護事業	44,740万円
社会福祉協議会助成事業	6,749万円
身体障害者施設入所措置事業	3,326万円
身体障害者補装具給付事業	1,446万円
精神障害者施設入所措置事業	24,367万円
市年金等支給事業	1,892万円
特別障害者手当等支給事業	1,389万円
心身障害者ホームヘルプサービス事業	1,016万円
機能回復訓練事業	1,638万円
わかば会館運営委託事業	21,890万円
児童手当支給事業	10,481万円
保育所児童措置事業	29,647万円
民間保育所振興事業	11,564万円
ねたきり老人等短期入所事業	3,200万円
ねたきり老人等入浴サービス事業	2,050万円
(仮称)中部地区ケアセンター建設事業	1,027万円
「設計等」	
針灸・マッサージ等施術事業	1,692万円
老人福祉施設入所措置事業	34,614万円

### 教育文化都市

#### ◎心ゆたかな文化のあまるまち

市民の学習意欲の高まりとともに、新たなライフスタイルを支えるため、各種の文化活動・公民館活動への支援や、図書館、文化会館機能の充実を図るほか、教育環境・設備充実や、文化遺産の保存整備事業などを行います。

社家小学校校舎増築併行防音事業	46,936万円
今泉小学校校舎増築併行防音改修事業	1,867万円
「設計等」	



工事が進む(仮称)相模川橋

有馬中学校校舎防音改修事業	48,467万円
幼稚園教育振興事業	5,509万円
教育機器指導充実事業	18,635万円
「小・中学校へパソコン」	
相模国分寺跡環境整備事業	15,057万円
相模国分寺跡跡維持管理事業	28,825万円
「用地購入」	
(仮称)野外教育施設整備事業	12,930万円
今泉庭球場改良建設事業	5,000万円
文化会館小ホール建設事業	18,354万円
「5~7年度継続」	
(仮称)市民ギャラリー整備事業	8,000万円
「6・7年度継続」	
文化会館等駐車場整備事業	36,723万円
「用地購入等」	
日本語指導学級事業	324万円
第53回国民体育大会開催準備事業	827万円

### 快適環境都市

#### ◎安心して快適に暮らせるまち

みどり豊かなまちづくりを推進するために、みどりの保全に努めるほか、資源の分別回収による有効利用や、災害時における、防災資機材の整備や飲料水の確保、交通安全対策、防犯対策などを行います。

放置自転車等対策事業	11,453万円
資源分別回収事業	12,101万円
防災対策推進事業「飲料水兼用貯水槽2基、サブバイパス等」	14,601万円
消防水利設置事業「防火水槽5基」	7,163万円
消防車両整備事業「非常備消防車4台 常備消防車2台等」	13,991万円
南分署消防訓練塔建設事業「設計」	656万円
緑の基本計画策定事業	1,101万円
自然緑地保全・生垣奨励事業	1,045万円

### 生活拠点都市

#### ◎ゆとりある住みよいまち

複合的な都市機能が集積された活力のある、秩序のあるまちづくりを行うために、道路、橋、公園などの整備や、下水道・排水路の整備、鉄道の立体化事業計画の推進などを行います。

新駅設置促進事業	300万円
市道維持補修事業	57,854万円
幹線・準幹線道路整備事業	53,008万円
「3号線ほか7路線」	
かしわ台跡線橋架設事業	150,295万円



拡張される亀島自然公園

一般生活道路整備事業	35,000万円
「103号線ほか23路線」	
(仮称)相模川橋架設事業	21,490万円
道路改良・歩道設置用地購入事業	178,842万円
都市排水路整備事業	62,938万円
都市下水路整備事業	28,748万円
公共下水道整備事業	292,174万円
区画整理推進事業	4,802万円
海老名運動公園陸上競技場整備事業	5,537万円
海老名運動公園水辺の広場整備事業	16,193万円
(仮称)北部地区公園整備事業	3,800万円
亀島自然公園拡張整備事業	15,869万円
鉄道立体交差事業	1,864万円
海老名駅周辺地区市街地整備事業	1,206万円

### 産業複合都市

#### ◎地域経済に活力があるまち

産業と地域社会が共存し、働きがいのある活力にあふれたまちづくりを進めるために、農・商・工業の振興のため各種事業を行うほか、観光事業の推進を行います。

中小企業事業資金融資事業	26,600万円
観光協会補助事業	2,400万円
農業基盤整備事業	13,900万円
農業経営育成促進農業構造改善補助事業	6,255万円
畜産環境保全対策促進事業	1,306万円
勤労者住宅資金利子補給事業	2,571万円
商工業経営の近代化と	
組織活動の充実事業	3,453万円

### 行財政の推進

#### ◎開かれた市政・効率的な運営

市民参加による開かれた市政は、市民の積極的な参加が大切であるため、コミュニティ推進事業を行い、市内の9箇目の社家コミュニティセンターを完成させ、10箇目計画の最後として下今泉地区にコミュニティセンターを建設します。

(仮称)社家地区コミュニティセンター建設事業「6・7年度継続」	73,676万円
(仮称)下今泉地区コミュニティセンター建設事業「7・8年度継続」	14,663万円
(仮称)国分寺台文化センター建設事業「設計」	1,534万円
市民意識調査事業	350万円
広域大和斎場組合運営事業	27,562万円
高座清掃施設組合運営事業	125,242万円



8年春完成の社家コミュニティセンター

### 春たけなわ桜、満開

今年は桜の開花が、例年より少し遅れたが、春風に誘われて、4月上旬には、市内の桜は満開。柔らかな日差しを浴びて、風が吹くと桜吹雪が舞い、辺り一面、淡いピンク色の景色に包まれた。



# フオイトピックス

### ▲きれいに咲いてね!

4月2日、市役所前通りの歩道で、海老名青年会議所が募集した子供たち25人の「わんぱく自然たいけん隊」が、春の花植えを行った。



### ▶太極拳の神髄を披露

4月2日、運動公園体育館で、「第6回日中太極拳交流競技大会」が行われ、中国代表選手24人、日本代表選手9人が参加。すばらしい演武を披露した。

### ▶甘くておいしいイチゴ

摘みたてのイチゴがその場で食べられる観光農園が、4月8日から中河内の農家4軒の温室で行われている。土曜・日曜日は家族連れでにぎわい、「甘くておいしい」と大評判。このイチゴ摘みは5月末までの土曜・日曜・祝日に行われている。



### ▶家族でシイタケ狩り

4月8日、柏ヶ谷の「大貫しいたけ園」でシイタケ狩りが行われた。当日、午前9時の花火を合図に家族連れなど約50人が会場を訪れた。取ったシイタケは廉価で販売され、袋いっぱいのシイタケを手にする来場者も見受けられた。



「私はエンベステラー(大使)です。ニュージーランドのことを日本のたくさんの方に話し、日本のことをいっばい勉強して、聞いてニュージーランドに伝える」と笑顔で語った言葉が大変印象に残ったジョエル・ローザさん。今年1月14日に国際ロータリー財団国際親善奨学生として日本へ留学、3カ月が過ぎた。今は、ホストロータリークラブ(留学の受け入れ役)としての海老名ロータリークラブ

### 日本の生活を知りたい

会員の三田光昭氏宅(社宅)から県立有馬高校へ通っている17歳。ニュージーランドで高校(5年制)に入学時に日本語を専攻した。その日本語担当の先生がロータリークラブと係わりがあったため、国際親善奨学生制度を知り、厳しい選考の結果、今年度学生となった。「ニュージーランドには、

ニュージーランドから  
県立有馬高校へ留学している  
ジョエル・ローザさん



たきつけ話を話してくれた。三田さんは「礼儀とか礼節」といった日本古来の文化に大変興味を持っています。性格がとても良く、明るい子です」と話される。こうした日本への深い思いからか、有馬高校では、生花と剣道のクラブに入っている。「ニュージーラ

ンドでは、海が近いので水泳やライフガードなどに一生懸命でした。今年はミス・パブモア(ジョエルさんが住んでいるまち)にもなりました」と写真の載った雑誌を見せてくれた。「日本の食べ物は何でも食べられます。でも、納豆はちよつとだめ!」と言いながらも「チャレンジ、チャレンジ」と口から出る強い言葉が短い留学期間に日本をまるごと飲み込んでしまおうとの意欲がうかがえる。

留学期間は、来年の1月までの1年間。期間中は海老名ロータリークラブの会員4家庭にホームステイする。ニュージーランドには両親に妹2人、弟1人がいる。6人家族の長女。